

学 術 研 究 発 表 集 録

(2006. 1. 1～2006. 12. 31)

人文・社会科学

口 頭

| | | |
|--|------------------|--|
| 強化学習と PSO による群エージェントの行動制御に関する研究 | 高 取 則 彦 | 精密工学会春季学術講演会 2006, 3 |
| BSE 検査と原産国別牛肉に対する消費者の評価 ー非補償型ルールを検証ー | 佐 藤 和 夫 | 北海道農業経済学会第 111 回 例会 2006, 3 |
| Dynamic ストレッチングが等負荷性膝伸展における カーパワー関係に及ぼす影響 | 山 口 太 一 | 第 8 回日本体力医学会北海道 地方会 2006, 4 |
| 在宅運動と健康教室併用型プログラムが高齢女性の心 臓自律神経活動に与える影響 | 山 口 太 一 | 第 8 回日本体力医学会北海道 地方会 2006, 4 |
| 捕鯨問題と政, 官, 業, 学, メディア, NGO | 森 川 純 | 日本平和学会北海道地区研究 会 2006, 5 |
| ガブリエル・マルセル「誠実」と「固執」 | 小 林 敬 | 日本宗教学会第 65 回学術大 会 2006, 6 |
| 北海道生乳生産の地域別シミュレーション分析 | 丸 山 明 小 糸 健太郎 | 北海道地理学会春季学術大会 2006, 6 |
| The Influence of Japanese Consumer Attitudes toward Food Safety on Beef Valuations: A Choice Experiment Analysis | K. Sato | Third World Congress of Environmental and Re- source Economists 2006, 7 |
| Guidelines for Structuring the humanities research paper | N. L. Kennedy | 第 9 回日本医学英語教育学会 2006, 7 |
| First-year nursing students in Japan and China tested on English for routine activities and for body parts | N. L. Kennedy | 第 9 回日本医学英語教育学会 2006, 7 |
| ニジェール河内陸デルタ水稻作村における農家経済の 自給的性格とその変容 | 山 崎 亮 一 | 日本農業市場学会 2006, 7 |
| 単位農協による米の直接販売の展開 | 相 原 晴 伴 | 日本農業市場学会 2006, 7 |
| 青果物卸売市場における残品発生の実態とその発生要 因 | 杉 村 泰 彦 | 日本農業市場学会 2006, 7 |
| 北海道における情報教育の共通基盤形成に向けた調査 | 森 夏 節 | PC Conference 2006 2006, 8 |
| オンデマンドストーリーミングサーバを用いた授業支援 に関する実証研究の報告 | 森 夏 節 | PC Conference 2006 2006, 8 |
| 産加消の提携による農村開発 | 杉 村 泰 彦 | 第13回日韓農業シンポジウム 2006, 8 |

| | | |
|--|---------|-----------------------------------|
| デンマークにおける環境保全型農業の展開と農業教育 | 中 原 准 一 | 日本環境教育学会第 17 回大会 2006, 8 |
| Static ストレッチングおよび Dynamic ストレッチングがカーパワー関係に及ぼす急性の効果 | 山 口 太 一 | 第 61 回日本体力医学会大会 2006, 9 |
| 在宅運動と健康教室の併用プログラムが高齢者の下肢筋力, 歩行能力および全身持久力に及ぼす影響 | 山 口 太 一 | 第 61 回日本体力医学会大会 2006, 9 |
| 姿勢変化が最大下自転車運動におけるペダリング動態に及ぼす影響 | 山 口 太 一 | 第 61 回日本体力医学会大会 2006, 9 |
| 前運動における負荷の違いがカー速度-パワー関係に及ぼす効果 | 山 口 太 一 | 第 61 回日本体力医学会大会 2006, 9 |
| 農業分野における外国人労働者受入問題と新たなシステム構築の可能性に関する一考察 —農事組合法人・無茶々園を事例として— | 家 串 哲 生 | 地域農林経済学会 2006, 10 |
| コメ主産地の農協マーケティングの展開戦略 —北海道の生き残り戦略— | 相 原 晴 伴 | 日本協同組合学会 2006, 10 |
| 連携の流れについて —経営診断事例より考察— | 森 永 文 彦 | 日本経営診断学会北海道部会 2006, 10 |
| 持続可能型商店街の診断技法 | 加 藤 敏 文 | 日本経営診断学会第 39 回全国大会 2006, 10 |
| ライ麦乾草の嗜好性 | 名久井 忠 | 日本草地学会 2006, 10 |
| 噴火経験と住民意識 —モデル化の試み— | 押 谷 一 | 日本地域学会 2006, 10 |
| バイオガスシステム導入の経済的成立要因 | 市 川 治 | 日本農業経営学会 2006, 10 |
| 寒冷ストレス刺激に対するコルチゾールの変化 | 山 田 弘 司 | 北海道・東北心理学会第 10 回大会 2006, 10 |
| 2006 年度北海道の自治体における Web アクセシビリティ調査 | 森 夏 節 | PC カンファレンス北海道 2006 2006, 11 |
| インターネット特有の言語 | 森 夏 節 | PC カンファレンス北海道 2006 2006, 11 |
| 快, 不快臭が感情画像刺激への誘発電位に及ぼす影響 | 山 田 弘 司 | 日本心理学会第 70 回大会 2006, 11 |
| 地域資源管理からみた集落営農組織の地域性に関する一考察 | 吉 岡 徹 | 農業問題研究学会 2006, 11 |
| バンカーサイロを用いたトウモロコシサイレージ損失量の低減 | 名久井 忠 | 北海道草地研究会 2006, 12 |
| 道央地域におけるグリーンサイレージ用トウモロコシの可能性 | 名久井 忠 | 北海道草地研究会 2006, 12 |
| ソルガムサイレージにおける嗜好性の品種間差 | 名久井 忠 | 北海道草地研究会 2006, 12 |

誌 上

- | | | |
|---|---|--|
| Dairy industry needs a whole new game plan | K. Araki | Herald Tribune 2006. 6, (16) : 30 |
| Editorial: Does improved communication mean improved Treatment? | N. L. Kennedy | J. Med. English Education 2006. 6, 5(2) : 74-75 |
| Editorial: Transition | N. L. Kennedy H. Hishida | J. Med. English Education 2006. 6, 5(2) : 76-77 |
| Continuing Professional Education: Healthcare interpreting | N. L. Kennedy | J. Med. English Education 2006. 6, 5(2) : 112-117 |
| Editorial: How much does the learning environment matter? | N. L. Kennedy H. Hishida | J. Med.English Education 2006. 12, 6(1) : 8-11 |
| Continuing Professional Education: Problem-Based Learning | N. L. Kennedy | J. Med. English Education 2006. 12, 6(1) : 90-91, 96 |
| Acute effect of static stretching on power output during concentric dynamic constant external resistance leg extension | T. Yamaguchi K. Ishii M. Yamanaka K. Yasuda | J. Strength Cond. Res., 2006. 11, 20 : 804-810 |
| Influence of exercise intervention on blood lipid levels, glycometabolism, adipocytokines, and cardiac autonomic function in adolescent females with hidden obesity | K. Ishii M. Ayabe T. Okabe T. Iwata K. Takayama T. Yamaguchi | Jpn. J. Phys. Fitness Sports Med., 2006. 10, 55 : 53-58 |
| Acute static stretching reduces power output during isotonic muscle action | T. Yamaguchi K. Ishii M. Yamanaka K. Yasuda | Jpn. J. Phys. Fitness Sports Med., 2006. 10, 55 : 109-112 |
| Effect of dog-walking on autonomic nervous activity in senior citizens | M. Motooka H. Koike T. Yokoyama N. L. Kennedy | Med. J. Australia 2006. 1, 184(2) : 60-63 |
| Contingent Valuation approach in measuring the multifunctionality of agriculture and rural areas in Japan | H. Aizaki K. Sato H. Orari | Paddy Water Environm., 2006. 12, 4(4) : 217-222 |
| 「臨空」は企業戦略の重要なキーワード | 森 永 文 彦 | BEST TRIANGLE ZONE EBETSU (企業誘致パンフ レット), 江別市 2006. 12, 12 |
| 自然環境の「再利用」と社会環境の変革 | 押 谷 一 | HEERO REPORT, 北海道雇用経済研究機構 2006. 7, (53) : 3-4 |
| ニーズを創る | 松 本 懿 | HEERO REPORT, 北海道雇用経済研究機構 2006. 11, (57) : 3-4 |
| 牛乳廃棄「規模拡大」路線の転換を | 荒 木 和 秋 | 朝日新聞 2006. 6, (43157) : 12 |
| 北海道酪農持続のためのバイオガス利用システム導入の複合的評価 | 市 川 治 | 開発こうほう, 北海道開発協会 2006. 6, (515) : 5-9 |

| | | |
|---|---|--|
| 米の国内市場制度に関する主要研究と論点 | 相 原 晴 伴 | 農業市場の制度問題と分析モデルに関する統合的研究, 平成 17~19 年度科学研究費補助金 (基盤研究 B) 研究成果報告書 2006. 3, 44-52 |
| 青果物卸売市場の制度問題に関する主要研究と論点 | 杉 村 泰 彦 | 農業市場の制度問題と分析モデルに関する統合的研究, 平成 17~19 年度科学研究費補助金 (基盤研究 B) 研究成果報告書 2006. 3, 53-62 |
| 噴火経験の座談会によるヒアリング —2000 年・有珠山噴火— | 押 谷 一 | 火山爆発のダイナミックス, 特定領域研究報告書 2006. 3, 415-419 |
| 診断実践シリーズ「持続可能型商店街の診断技法」, 「社会的共通資本を活用する商店街」 | 加 藤 敏 文 | 企業診断ニュース 2006. 7, 44-49 |
| 診断実践シリーズ「持続可能型商店街の診断技法」, 「バランス・スコアカード活用による持続可能な商店街づくり」 | 加 藤 敏 文 | 企業診断ニュース 2006. 10, 44-49 |
| 農業新時代への活路を | 仙 北 富志和 | きょうを読む, 東奥日報社 2006. 4 |
| 北海道における実技テストを含めたコンピュータリテラシー調査の分析 | 森青小曾棚藤 木杉我橋澤 夏直直聰二法 節史美起朗義 | コンピュータ&エデュケーション, CIEC 2006. 12, 21: 17-23 |
| 平成 17 年度山村振興対策推進調査報告書・市町村合併と今後の山村振興方策 —岐阜県郡上市における町村合併の現状と課題— | 家中 串川 哲 生 中 聰七郎 | 平成 17 年度山村振興対策推進調査報告書, 農林水産省農村政策課 2006. 3, 31-44 |
| 水田地帯における転作作物導入による所得向上対策 | 相 原 晴 伴 | 水田地帯における転作作物導入による所得向上対策調査報告書, 北海道地域農業研究所 2006. 3, 1-41 |
| 日本的酪農システムを考える | 荒 木 和 秋 | 全酪新報 2006. 1, (1934): 1 |
| 北海道で注目集まる農場制型 TMR センター | 荒 木 和 秋 | 大地 2006. 1, 263: 4-5 |
| 農事組合法人東もこと TMR (東藻琴村) | 荒 木 和 秋 | 平成 17 年度畜産基盤活性化整備調査報告書, 農林水産省生産局 2006. 3, 42-55 |
| 我が国における酪農支援組織の成立・発展条件 | 荒 木 和 秋 | 畜産草地研究所平成 18-3 資料 2006. 11, 1-11 |
| 持続可能型商店街の診断技法に関する調査研究 | 加 藤 敏 文 笹 山 喜 市 園 野 宗 水 日 生 春 雅 秀 | 中小企業診断協会 2006. 3, 1-18, 78-93 |
| 長期的な視点に立ち家畜排せつ物法などとの体系的展開を 環境重視型へのシフト—新事業をどう評価する | 中 原 准 一 | デーリイマン 2006. 3, 56(3): 20-21 |
| 生乳にも市場評価の時代がやってくる | 荒 木 和 秋 | デーリイマン 2006. 9, 56(9): 24-25 |

| | | | | | |
|---|-------|-------|-------|-------|---|
| 地域農業の活力再生戦略を考える —農業ビジネススクールの構想— | 家中岩片 | 申川崎岡 | 哲聰七郎 | 生弘喜 | 鳥取環境大学紀要 2006, 2, (4) : 53-74 |
| 日本在来馬の保存・活用による便益の計測 —仮説的トラベルコスト法による分析— | 佐粕 | 藤 潤 | 和 真 | 夫 樹 | 2005 年度日本農業経済学会 論文集 2006, 3 : 391-396 |
| さまざまな情報を共有する仕組みをつくる —プランナーとしての行政・団体の姿— | 相 | 原 | 晴 | 伴 | ニューカントリー 2006, 3, 53(3) : 64-66 |
| 新たな普及事業 —期待と不安— | 仙 | 北 | 富志和 | | ニューカントリー 2006, 8, 53(8) : 72-74 |
| 実情に応じた「担い手」で地域農業の足場固める —需給調整の実効性確保するために全国システムの不備改善を— | 相 | 原 | 晴 | 伴 | ニューカントリー 2006, 10, 53(10) : 70-72 |
| 経営所得安定対策の今後の課題 | 相 | 原 | 晴 | 伴 | 農家の友 2006, 1, 58(1) : 40-41 |
| 特集「新たな政策転換の時代,それぞれの生き方」対談 | 工林浅原湯 | 藤出野田浅 | 英勇晃和佳 | 一一彦夫春 | 農家の友 2006, 2, 58(2) : 20-30 |
| 正念場をむかえる WTO 農業交渉 | 相 | 原 | 晴 | 伴 | 農家の友 2006, 2, 58(2) : 32-33 |
| 食農連携では農業の自立性を保つことが必要 | 相 | 原 | 晴 | 伴 | 農家の友 2006, 3, 58(3) : 36-37 |
| 米の新需給調整システムへの移行の課題 | 相 | 原 | 晴 | 伴 | 農家の友 2006, 4, 58(4) : 40-41 |
| 「地域ブランド化」の体制整備をどう進めるか | 相 | 原 | 晴 | 伴 | 農家の友 2006, 5, 58(5) : 36-37 |
| 農政は食料自給率の向上を放棄するな | 相 | 原 | 晴 | 伴 | 農家の友 2006, 6, 58(6) : 46-47 |
| ポジティブリスト制度への対応方向 | 相 | 原 | 晴 | 伴 | 農家の友 2006, 7, 58(7) : 42-43 |
| 食料供給コスト縮減のメリットを農家へ | 相 | 原 | 晴 | 伴 | 農家の友 2006, 8, 58(8) : 36-37 |
| 品目横断的経営安定対策の将来方向を明確に | 相 | 原 | 晴 | 伴 | 農家の友 2006, 9, 58(9) : 36-37 |
| 「地域農業の構造改革」をどう進めるか | 相 | 原 | 晴 | 伴 | 農家の友 2006, 10, 58(10) : 40-41 |
| 食料供給コスト縮減の問題点と課題 | 相 | 原 | 晴 | 伴 | 農家の友 2006, 11, 58(11) : 36-37 |
| 系統農協は「担い手づくり」をどう進めるか | 相 | 原 | 晴 | 伴 | 農家の友 2006, 12, 58(12) : 72-73 |
| 農場制型 TMR センターの成果と意義 | 荒 | 木 | 和 | 秋 | 農業経営研究 2006, 6, 44(1) : 85-88 |
| 選択型コンジョイント分析による生産情報公表牛肉と BSE 検査済み外国産牛肉の消費者評価 | 佐合澤吉 | 藤崎田川 | 和英肇 | 夫男学子 | 農業経営通信 2006, 12, (230) : 30-33 |
| 書評「里地放牧を基軸にした中山間地域の肉用牛繁殖 経営の改善と農地資源管理」 | 荒 | 木 | 和 | 秋 | 農業経済研究 2006, 9, 78(1) : 50-51 |

| | | |
|---|---|--|
| 書評「香月敏孝著・野菜作農業の展開過程―産地形成から再編へ―」 | 杉 村 泰 彦 | 農業市場研究 2006. 6, 15(1) : 89-91 |
| 選択実験による地域食料自給率向上政策の評価 | 佐 藤 和 夫 角 田 修 一 | 農業情報研究 2006. 9, 15(3) : 255-266 |
| 生産情報公表牛肉および BSE 検査済み外国産牛肉の消費者評価 ―選択実験による接近― | 合 崎 英 男 澤 田 和 学 佐 藤 和 夫 吉 川 肇 子 | 農業情報研究 2006. 9, 15(3) : 293-306 |
| 「資源循環型畜産」構築への豊かな論点提示 | 中 原 准 一 | 農業と経済 2006. 9, 72(10) : 93 |
| 北海道における低コスト自給飼料生産のとりくみ | 荒 木 和 秋 | 農業と経済 2006. 11, 72(13) : 49-58 |
| 地域農業の転換と農協の自主的「経済事業等の改革」 | 市 川 治 寛 東 山 | 農業・農協問題研究, 農業・農協問題研究所 2006. 8, (35) : 30-43 |
| 経営所得安定対策大綱の目指す担い手の評価 | 市 川 治 | 農政調査時報, 全国農業会議所 2006. 3, (555) : 2-12 |
| 調査地における農地利用の実態と農地保有合理化事業の役割 (訓子府町) | 相 原 晴 伴 | 農地保有合理化事業に関する 調査 (畑作) 業務報告書, 北海道地域農業研究所 2006. 2, 65-71 |
| 卸売市場活性化のキーワード ―形骸化の徹底見直しを― | 細 川 允 史 | 農林リサーチ 2006. 1, 14-17 |
| 畜産部門を基幹とする食品製造業者におけるバイオマス利活用の実態 ―株式会社ホクビーの事例― | 家 串 哲 生 | 平成 17 年度バイオマス利活用による循環型社会形成方向 検討業務報告書, 北海道地域農業研究所 2006. 3, 39-40 |
| 水産部門を基幹とする食品製造業者におけるバイオマス利活用の実態 ―標津町ふれあい加工体験センターの事例― | 家 串 哲 生 | 平成 17 年度バイオマス利活用による循環型社会形成方向 検討業務報告書, 北海道地域農業研究所 2006. 3, 41-43 |
| バイオマスの利用 その現状と課題 | 押 谷 一 | フードリサーチ 2006. 9, 615 : 34-37 |
| 放牧酪農の課題と展開方向 | 荒 木 和 秋 | 放牧酪農推進検討会報告書, 日本草地種子協会 2006. 11, 2-13 |
| 北海道稲作経営に係る意向調査 | 相 原 晴 伴 | 北海道稲作経営に係る意向調 査報告書, 北海道地域農業研究所 2006. 10, 2-9 |
| 冬期道路交通評価へのタクシードロブデータの活用 ～札幌市における事例～ | 宗 広 一 徳 秋 元 清 寿 高 橋 尚 人 浅 野 基 樹 三 谷 光 照 | 北海道開発土木研究所月報 2006. 1, (632) : 19-28 |
| 日本酪農担い手の将来像 | 荒 木 和 秋 | 北海道家畜管理研究会報 2006. 2, (41) : 53-58 |
| 北海道自治体学会 10 周年に寄せて | 松 本 懿 | 北海道自治体学会 10 周年記 念誌 2006. 8, 27-28 |

| | | |
|---|---|---|
| 環境調和型酪農への新たな取り組み | 荒 木 和 秋 | ミルククラブ 2006, 9, 4-5 |
| 鯨肉給食について | 森 川 純 | 野生生物保全論研究会会報 2006, 4, 1(45): 3 |
| 多様化する専門英語(2) —「授業評価」についての私見—(その1) | 尾 野 麻紀子 | 酪農学園大学紀要 2006, 4, 30(2): 195-203 |
| ニジェール河内陸デルタにおける農家経済の自給的性 格とその変容 —マリ国モプティ県の水稲作村を対象とした事例分析— | 山 崎 亮 一 | 酪農学園大学紀要 2006, 4, 30(2): 205-247 |
| 評価グリッド法による農学系学生の職業意識構造分析 | 望 月 真理子 佐 藤 和 夫 | 酪農学園大学紀要 2006, 4, 30(2): 249-261 |
| ドイツ農業政策のいくつかの注目点 | 仙 北 富志和 | 酪農学園大学紀要 2006, 10, 31(1): 1-15 |
| マルセルの「我・汝」思想を再び考える | 小 林 敬 | 酪農学園大学紀要 2006, 10, 31(1): 17-28 |
| 多様化する専門英語(2) —「授業評価」についての私見—(その2) | 尾 野 麻紀子 | 酪農学園大学紀要 2006, 10, 31(1): 29-38 |
| 酪農家による環境保全活動と酪農地帯における環境教育 —北海道A町と熊本県B市の事例より— | 發 地 喜久治 | 酪農学園大学紀要 2006, 10, 31(1): 39-48 |
| 中国新疆ウイグル自治区における持続的農業発展のための予備的考察 —複合的農業経営事例現地調査より— | 發 地 喜久治 干 場 信 司 堂 地 修 艾 尼 瓦 尔 艾 山 河 上 博 美 | 酪農学園大学紀要 2006, 10, 31(1): 49-54 |
| 温暖化規制制度における排出削減割当の差異化基準 | 遠 井 朗 子 | 酪農学園大学紀要 2006, 10, 31(1): 55-68 |
| 「健土健民」の意義を訪ねる —理想を追い求める先見性— | 仙 北 富志和 | 酪農ジャーナル 2006, 2, 59(2): 50-52 |
| 畜産環境問題の所在と規制の在り方 | 中 原 准 一 | 酪農ジャーナル 2006, 7, 59(7): 10-12 |
| 将来に向けて今, 考える経営対策 | 荒 木 和 秋 | 酪農ジャーナル 2006, 8, 59(8): 10-12 |
| 経営形態別に見た循環酪農 | 荒 木 和 秋 | 酪農ジャーナル 2006, 8, 59(8): 54-56 |
| 循環酪農の経済合理性 (キャンペーン企画「いまこそ循環酪農を！」第9回) | 佐 藤 和 夫 | 酪農ジャーナル 2006, 9, 59(9): 56-58 |
| クローン牛肉に対する消費者の評価 | 佐 藤 和 夫 合 崎 英 博 岩 本 幸 | 酪農ジャーナル 2006, 10, 59(10): 23-25 |
| 循環酪農における食品製造副産物利用の意義 | 名久井 忠 | 酪農ジャーナル 2006, 10, 59(10): 52-54 |
| 高飼養密度でも実現できる循環酪農 | 市 川 治 | 酪農ジャーナル 2006, 11, 59(11): 58-60 |
| ヨーロッパの頭数規制から学ぶ循環酪農 | 中 原 准 一 | 酪農ジャーナル 2006, 12, 59(12): 50-52 |
| 放牧が日本の酪農を救う | 荒 木 和 秋 | 臨床獣医 2006, 1, 24(1): 10-15 |
| 香月敏孝『野菜作農業の展開過程—産地形成から再編へ』の書評 | 市 川 治 | 歴史と経済, 政治経済学・経済史学会 2006, 10, (193): 73-74 |

著 書

| | | |
|--|---|---|
| Japan, a Model and a Partner | J. Morikawa, Seifudein Adem | BRILL 2006, 43-66 |
| 足もとにすでに智恵はある —北海道再生のシナリオ2— | 松 本 懿 荒 又 雄 横 山 純 et al | 北海道雇用経済研究機構編 著, 地域創造研究所 2006, 2, 152-177 |
| 生き方を左右する「感化力」と「教育力」 —聞く耳をもちなさい— | 仙 北 富志和 | ストーク 2006, 5 |
| 現代マーケティング入門 | 加 藤 敏 文 | グリット出版 2006, 9 |
| 青果物流通 | 杉 村 泰 彦 | 加藤義忠監修, 日本流通学会編, 現代流通事典, 白桃書房 2006, 11, 202-203 |
| 行動心理学 —社会貢献への道— | 山 田 弘 司 岩 本 隆 茂 石 川 悟 和 田 博 美 et al | 岩本隆茂, 和田博美編, 勁草書房 2006, 6, 45-64, 163-180 |
| コミュニティビジネスと建設婦農 —北海道の事例に日本の先端を学ぶ— | 松 本 懿 佐 藤 吉 彦 橋 場 利 夫 et al | 地方自治土曜講座ブックレッ ト 111 号, 公人の友社 2006, 3, 2-30, 78-97 |
| スイスの有機農産物の生産・加工・販売指針 —2004 年 1 月現在のテキスト— | 中 原 准 一 | 中原准一編著, 西ヨーロッパ に見る「食の安全」と環境政 策, 酪農学園大学エクステン ションセンター 2006, 10, 1-67 |
| デンマークの農業と環境 | 中 原 准 一 | 中原准一編著, 西ヨーロッパ に見る「食の安全」と環境政 策, 酪農学園大学エクステン ションセンター 2006, 10, 69-91 |
| ドイツの有機食品小売業の発展方向 | 加 藤 敏 文 | 中原准一編著, 西ヨーロッパ に見る「食の安全」と環境政 策, 酪農学園大学エクステン ションセンター 2006, 10, 93-113 |
| ドイツの「農業・食料政策」の基本姿勢 —ドイツ連邦政府「2002 年度・食料—農業政策報告」 から— | 仙 北 富志和 | 中原准一編著, 西ヨーロッパ に見る「食の安全」と環境政 策, 酪農学園大学エクステン ションセンター 2006, 10, 177-202 |
| ドイツ農業の動向と農業・農村の支援政策 | 仙 北 富志和 | 中原准一編著, 西ヨーロッパ に見る「食の安全」と環境政 策, 酪農学園大学エクステン ションセンター 2006, 10, 203-226 |
| 新酪事業による根室地域開発とその性格 | 吉 野 宣 彦 | 岩崎 徹, 牛山敬二編著, 北 海道農業の地帯構成と構造変 動, 北海道大学出版会 2006, 2, 116-126 |

| | | |
|---|---------------------------|---|
| 流通再編下における農協の米集荷・販売対応 | 相 原 晴 伴 | 岩崎 徹, 牛山敬二編著, 北海道農業の地帯構成と構造変動, 北海道大学出版会 2006, 2, 210-216 |
| 生産技術の到達点と地域性 | 吉 野 宣 彦 | 岩崎 徹, 牛山敬二編著, 北海道農業の地帯構成と構造変動, 北海道大学出版会 2006, 2, 359-368 |
| フリーストール牛舎による多頭化の効果と課題 | 吉 野 宣 彦 | 岩崎 徹, 牛山敬二編著, 北海道農業の地帯構成と構造変動, 北海道大学出版会 2006, 2, 388-398 |
| 放牧による低コスト化への動き | 吉 野 宣 彦 | 岩崎 徹, 牛山敬二編著, 北海道農業の地帯構成と構造変動, 北海道大学出版会 2006, 2, 398-412 |
| 草地型酪農の到達点と今後の課題 | 吉 野 宣 彦 | 岩崎 徹, 牛山敬二編著, 北海道農業の地帯構成と構造変動, 北海道大学出版会 2006, 2, 412-420 |
| 酪農バイオガスシステム導入の経営経済的評価の意義 | 市 川 治 | 市川 治, 中原准一, 干場信司監修, 酪農バイオガスシステムの社会的・経済的評価, 酪農ジャーナル(臨時増刊号) 2006, 3, 32-39 |
| 海外バイオガスシステムの経済的評価と導入意義 | 中 原 准 一 | 市川 治, 中原准一, 干場信司監修, 酪農バイオガスシステムの社会的・経済的評価, 酪農ジャーナル(臨時増刊号) 2006, 3, 50-52 |
| 地域的・小中規模共同利用型バイオガスシステムの導入事例 —畑作酪農地帯の北海道湧別町の事例— | 市 川 治 | 市川 治, 中原准一, 干場信司監修, 酪農バイオガスシステムの社会的・経済的評価, 酪農ジャーナル(臨時増刊号) 2006, 3, 93-100 |
| 個別型バイオガスシステムの導入事例 —北海道江別市・町村農場の事例— | 市 川 治 中 村 稔 淡 路 和 則 | 市川 治, 中原准一, 干場信司監修, 酪農バイオガスシステムの社会的・経済的評価, 酪農ジャーナル(臨時増刊号) 2006, 3, 109-114 |
| 個別型バイオガスシステムの導入事例 —北海道足寄町・三津橋牧場の事例— | 中 村 稔 市 川 治 發 地 喜久治 | 市川 治, 中原准一, 干場信司監修, 酪農バイオガスシステムの社会的・経済的評価, 酪農ジャーナル(臨時増刊号) 2006, 3, 115-120 |
| 個別型バイオガスシステムの導入事例 —北海道土幌町・鈴木牧場の事例— | 市 川 治 | 市川 治, 中原准一, 干場信司監修, 酪農バイオガスシステムの社会的・経済的評価, 酪農ジャーナル(臨時増刊号) 2006, 3, 121-125 |
| 個別型バイオガスシステムの導入事例 —宮崎県都城市・高千穂牧場の事例— | 市 川 治 中 村 稔 | 市川 治, 中原准一, 干場信司監修, 酪農バイオガスシステムの社会的・経済的評価, 酪農ジャーナル(臨時増刊号) 2006, 3, 126-131 |

| | | |
|------------------------------|---------|--|
| 海外の先進事例 —デンマーク— | 中 原 准 一 | 市川 治, 中原准一, 干場信司監修, 酪農バイオガスシステムの社会的・経済的評価, 酪農ジャーナル(臨時増刊号) 2006, 3, 165-173 |
| バイオガスシステムの経済的・複合的評価による展開の可能性 | 市 川 治 | 市川 治, 中原准一, 干場信司監修, 酪農バイオガスシステムの社会的・経済的評価, 酪農ジャーナル(臨時増刊号) 2006, 3, 194-202 |
| 統計データの整理 1 | 深 澤 史 樹 | 酪農学園大学統計学教育研究会編著, らくらく統計学, ムイスリ出版 2006, 4, 1-7 |
| 統計データの整理 2 (散布図, クロス集計表) | 深 澤 史 樹 | 酪農学園大学統計学教育研究会編著, らくらく統計学, ムイスリ出版 2006, 4, 9-13 |
| 標本分布の値の中心を示す特性値 | 丸 山 明 | 酪農学園大学統計学教育研究会編著, らくらく統計学, ムイスリ出版 2006, 4, 15-22 |
| 標本分布の値のばらつきを示す特性値 | 丸 山 明 | 酪農学園大学統計学教育研究会編著, らくらく統計学, ムイスリ出版 2006, 4, 23-28 |
| 2次元データの特徴を示す特性値 | 丸 山 明 | 酪農学園大学統計学教育研究会編著, らくらく統計学, ムイスリ出版 2006, 4, 29-36 |
| 点推定と推定量の望ましい性質 | 深 澤 史 樹 | 酪農学園大学統計学教育研究会編著, らくらく統計学, ムイスリ出版 2006, 4, 89-92 |
| 母平均の区間推定(1): 正規分布 | 深 澤 史 樹 | 酪農学園大学統計学教育研究会編著, らくらく統計学, ムイスリ出版 2006, 4, 93-101 |
| 仮説検定の基本的な考え方 | 小 糸 健太郎 | 酪農学園大学統計学教育研究会編著, らくらく統計学, ムイスリ出版 2006, 4, 113-122 |
| 平均値に関する仮説検定(1) | 小 糸 健太郎 | 酪農学園大学統計学教育研究会編著, らくらく統計学, ムイスリ出版 2006, 4, 123-129 |
| 平均値に関する仮説検定(2): 母平均の差の検定 | 小 糸 健太郎 | 酪農学園大学統計学教育研究会編著, らくらく統計学, ムイスリ出版 2006, 4, 131-136 |
| 分散に関する仮説検定 —分散比の検定— | 小 糸 健太郎 | 酪農学園大学統計学教育研究会編著, らくらく統計学, ムイスリ出版 2006, 4, 138-141 |